

今後の進め方

(第14回 巴川流域総合治水対策協議会)



静岡県

静岡市

今後の進め方

年度	実施時期	協議会・幹事会 等	議題
R4	R5. 3. 22	第14回 巴川流域総合治水対策協議会	「流域治水プロジェクト」の改訂案
	R5. 3末	「巴川水系流域治水プロジェクト」改訂版の公表（県HPに掲載）	
R5以降	6～7月	協議会（幹事会）	「流域水害対策計画」及び「流域治水プロジェクト」のフォローアップ
	随時	幹事会（作業部会） 協議会（幹事会）	令和4年台風第15号の詳細検証 取組の具体化・細分化 流域治水対策の推進 「流域水害対策計画」及び「流域治水プロジェクト」の変更

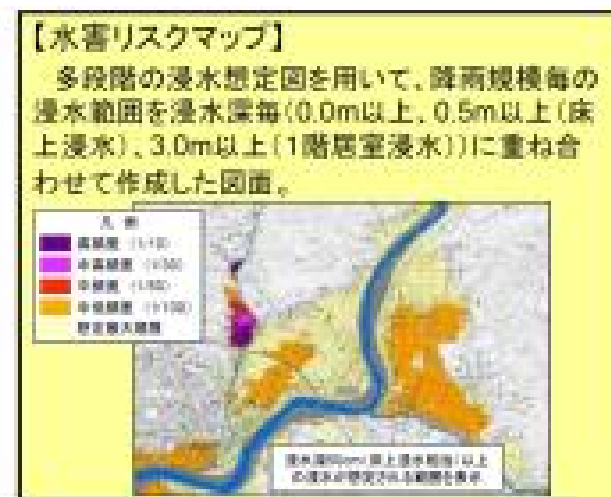
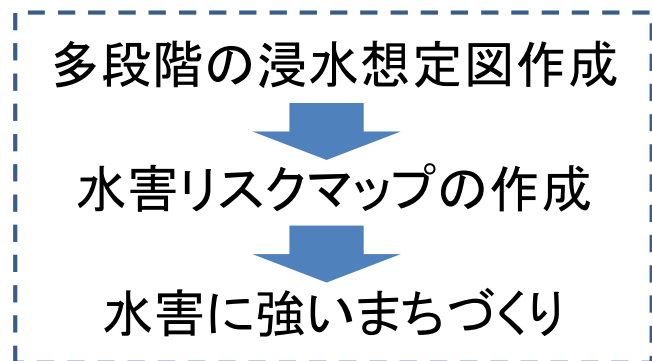
台風第15号の詳細な検証と流域治水対策の推進

今年度は巴川本川の外水氾濫対策とソフト対策等を中心とした見直し検討

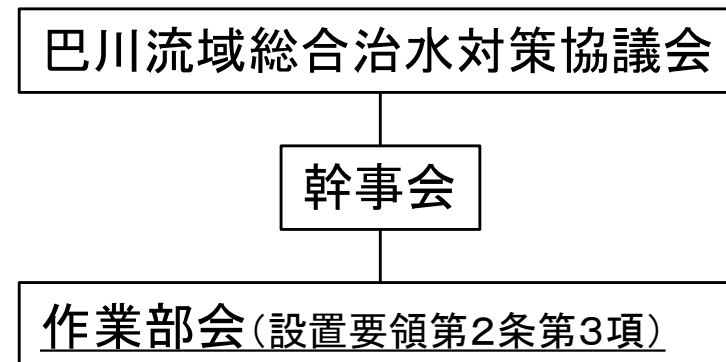
- 内外水一体型モデルによる氾濫シミュレーションにより、浸水要因の分析(内水・外水)を行い、効果的な取組の抽出
- 流域治水プロジェクトの対策メニューの見直しを視野にフォローアップしていく
- 短期対策の整備効果等を整理
- 流域治水プロジェクトの取組等について、地域住民へのPRを強化

流域水害対策計画の変更に向けた検討

- 河川、下水道、流域の対策強化
- 被害対象を減少させる対策の強化



台風第15号の詳細な検証や取組の具体化、細分化を議論するために、設置要領第2条第3項に基づき、幹事会の下に「作業部会」を立ち上げる。



※作業部会のメンバーは具体的な取組に関係する部局に限定する

作業部会での検討においては、浸水要因等からいくつかの地区(A地区、B地区、C地区など)に分け、それぞれの地区で効果的な対策の検討を行うなど、取組の具体化、細分化等を図っていく。

流域治水の実践・深化【重点対策流域】 全県の取組

・静岡県では令和2年度から、「流域治水」に取り組んでいる地区のうち、特に浸水被害が著しい県下10流域（14地区）で気候変動も踏まえた被害軽減対策として「水災害対策プラン」の策定に取り組んでいる。

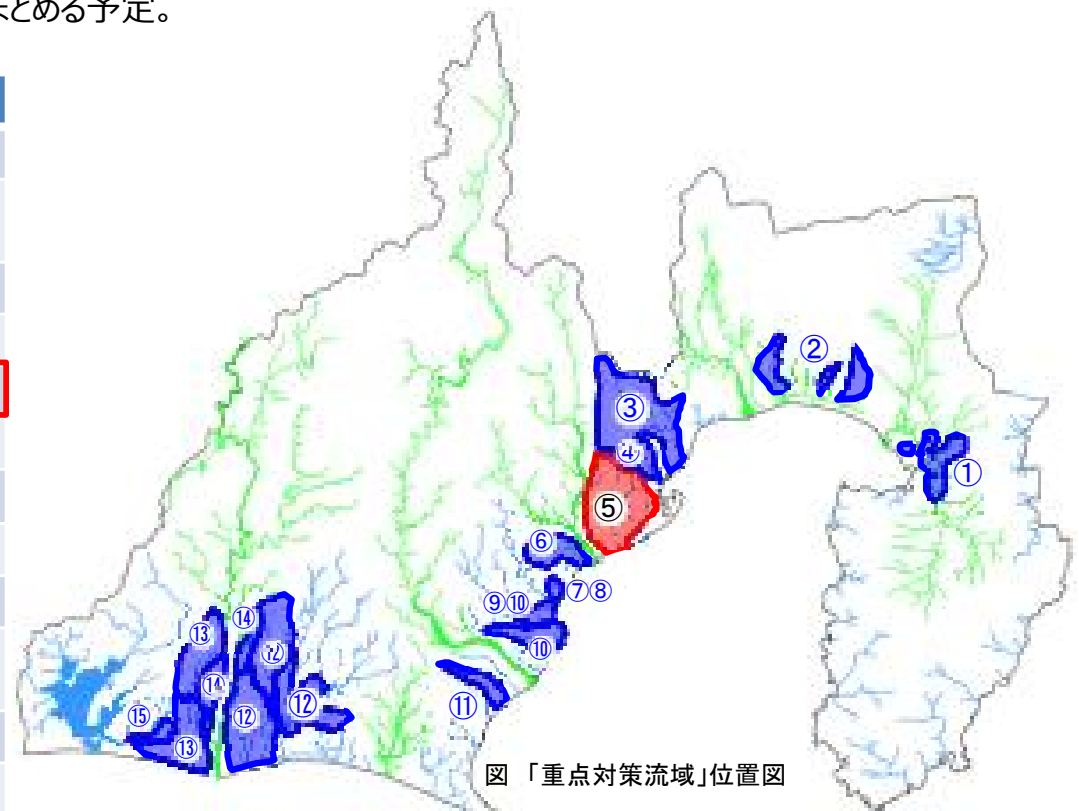
・令和4年の台風15号による浸水被害を踏まえ、これまでの水災害対策プラン対象流域に今回被害の大きかった5流域を加えた県内15流域を「重点対策流域」に位置付け、「流域治水」を強力に推進

- 【取組内容】
- ・気候変動の影響に加え、台風15号の被害の状況や要因を踏まえ、長期的な目標と短期的な目標を設定。
 - ・効果的な浸水被害軽減策の検討を行い、減災対策のプランを取りまとめる。
 - ・プラン策定後は、協議会において関係者間の情報共有や対策の進捗管理を行っていく。

【スケジュール】 令和5年度の上半期を目途にプランとして取りまとめる予定。

表「重点対策流域」一覧表

番号	流域	河川名(地区名)	プラン	台風15号
①	狩野川中流域	狩野川中流域、大場川左岸	○	
②	富士川流域	沼川・高橋川、江尾江川 伝法沢川・和田川・小潤井川	○	
③	興津川流域	興津川		○
④	庵原川流域	庵原川		○
⑤	巴川流域	巴川		○
⑥	安倍川流域	丸子川		○
⑦	瀬戸川流域	石脇川	○	○
⑧	高草川流域	高草川	○	○
⑨	小石川流域	小石川	○	○
⑩	栃山川流域	黒石川 栃山川・木屋川・成案寺川	○	○
⑪	坂口谷川流域	坂口谷川	○	○
⑫	太田川流域	袋井市中部、敷地川 ぼう僧川・今ノ浦川	○	○
⑬	馬込川流域	浜松市南部 馬込川上流・中流	○	○
⑭	天竜川流域	安間川、一雲済川	○	○
⑮	都田川流域	堀留川		○



図「重点対策流域」位置図

表 水災害対策プランの長期対策と短期対策について

長期対策	気候変動による将来予測を考慮した降雨量に対して、河川対策や流域対策のハード対策と、水害リスクの高い地域からの居住誘導などのソフト対策を組み合わせた効果的な減災対策
短期対策 (アクションプラン)	長期対策を見据えたうえで、令和元年東日本台風など、近年浸水被害が発生した地区等を対象に、床上浸水被害の解消などの目標を設定し、概ね5～10年間で実施するハード・ソフト対策

※プラン：水災害対策プランの策定対象流域
 ※台風15号：令和4年の台風15号で浸水被害が発生した流域